

日本建築学会論文集 2020年7月10日までの投稿について

論文集委員会

2019年6月11日～2020年7月10日24時の間に論文集へ投稿予定の著者におかれましては必ずご確認ください。

2019年6月11日付で応募規程、執筆要領、執筆の手引きが変更され、冊子版は2021年3月号が最後の刊行となり、2021年4月号からはオンラインのみでの刊行となります。

2019年6月11日～2020年7月10日にご投稿される方は、以下および関係規程類をご確認のうえ、ご投稿ください。

<2019年6月11日からの主な変更について>

(1) 二重投稿および著作権に関する項目の追加

- ・ 応募規程 1. 内容 / 2. 既発表のものでも応募できる範囲 / 10. 著作権 (4)

(2) レビュー論文 (カテゴリーIV) の追加

- ・ 応募規程 1. 内容 (1) b) / 8. 論文の採否 (2) b. b-4)
- ・ 査読要領 4. 論文集への採否の判定方法 (1) a. a-2)

(3) 標題の表記方法の変更

- ・ 応募規程 3. 標題
- ・ 和文論文テンプレートの説明

(4) 著者資格の明確化

- ・ 応募規程 4. 著者の資格

(5) 修正原稿 (R1, R2) 投稿時の著者変更の受付

- ・ 応募規程 5. 著者の追加・削除・順番変更
- ・ 査読要領 9. その他 (2)
- ・ 著者変更申請書

(6) 他の査読者意見の開示 (回答書の共有)

- ・ 回答書テンプレート
- ・ 回答書見本

(7) 英文校閲の推奨

- ・ 応募規程 6. 原稿 (3)
- ・ 執筆要領 11. その他 (1)

(8) 図表類英語表記の例外

- ・ 執筆要領 7. 本文 (3) a) ④

(9) 訂正記事および取り下げ記事の追加

- ・ 応募規程 14. 掲載済み論文, 質疑討論の訂正・取り下げ
- ・ 執筆要領 2. 原稿の書式・規格と論文等の構成 / 10. 電子形態による公開 (他の項目についても原則執筆要領に準ずる)
- ・ 手引き 1. 割り付け (レイアウト) とテンプレート / 5. 訂正記事の書き方 (テンプレートC) (他の項目についても原則手引きに準ずる)
- ・ 査読要領 8. 質疑討論寄稿および掲載後の訂正・取り下げ申請書類の取り扱い (3)
- ・ 論文集の訂正, 取り下げに関する運用要領
- ・ 訂正申請書 / 訂正記事テンプレート
- ・ 取り下げ申請書

■2020年7月10日24時までの投稿については、以下の通りです。

1. 原稿の形態

版下原稿またはレイアウト原稿

2. 原稿页数および登載料

(税込)				
内 容	頁数	版下原稿	レイアウト原稿	
論 文	本文	～6頁	20,000円	40,000円
		7頁	40,000円	60,000円
		8頁	60,000円	80,000円
		9頁	95,000円	115,000円
		10頁	130,000円	150,000円
	要約 (最終頁)	1頁	無 料	
討 論 回 答	1頁	無 料	10,000円	
	2頁		20,000円	

[注1] 論文は本文（10頁以内：標題から注・参考文献まで）と要約（1頁：最終頁の英文/和文要約）で構成され、要約（必須）は論文の末尾に改頁して付ける。

3. カラー印刷掲載と別刷

申し込みがあれば、上記の登載料にカラー印刷掲載料、別刷代が加算されます。（[登載料についてを参照](#)）

4. 投稿方法

電子投稿…毎月10日24時必着 投稿先：投稿審査システム <https://mc.manuscriptcentral.com/aij>

紙面投稿…毎月10日17時必着 ただし、10日が土日祝の場合、直前の平日17:00必着

投稿先：108-8414 東京都港区芝5-26-20 日本建築学会 論文集委員会

5. その他 論文の体裁等の上記以外の詳細については、最新版の執筆要領や手引きをご確認ください。

<FAQ よくある質問>

■上記の<2019年6月11日からの主な変更について>の各項目番号順にFAQをまとめましたのでご参照ください。

<(2)レビュー論文(カテゴリⅣ)の追加>

【レビュー論文(カテゴリⅣ)の追加】	
Q1	レビュー論文は2019年6月11日から投稿可能ですか。
A1	可能です。
Q2	レビュー論文も页数は最大10頁ですか。
A2	2020年7月受付分(2020年7月10日24時締切)までの新規投稿は、最大本文10頁(要約1頁は本文に含まない)です。2020年8月受付分(2020年8月10日24時締切)以降の新規投稿で2021年4月号以降に掲載の場合は、最大本文11頁(要約1頁は本文に含まない)までとなります。

<(3)標題の表記方法の変更>

【標題の表記方法の変更】	
Q1	主題のみでも問題ないですか。
A1	主題のみで問題ございません。総主題・副題は必要な場合のみ、添えてください。
Q2	総主題と主題は必ず「:」でつなげないといけないのでしょうか。
A2	総主題か主題かを判別できるよう、必ず「:」はつけてください。
Q3	連報を執筆していますが、すでに「その2」まで掲載されています。「その3」から今回の表記方法に変更しなければならないのでしょうか。
A3	変更しなくても問題ございません。すでに先の編が掲載されている場合は、著者の希望を優先します。

<(5)修正原稿(R1, R2)投稿時の著者変更の受付>

【修正原稿(R1, R2)投稿時の著者変更の受付】	
Q1	著者変更申請は2019年6月11日から受け付けてもらえるのでしょうか。
A1	受け付けます。
Q2	採用通知に査読者からのコメントがあり、修正を行いました。最終原稿提出時にも著者変更は可能でしょうか。
A2	できません。著者変更申請は、修正原稿投稿時のみ受け付けます。

- Q3 申請書に署名・押印欄がありますが、著者の何名かは他の地方や海外におり、署名・押印を集めるにはかなりの時間を要します。
- A3 署名・押印は個別にご郵送いただいで問題ございません。その場合、別々に送付する旨を論文集委員会（ronbun@aij.or.jp）宛にご連絡ください。海外在住の場合は郵便の不達等も考えられるため、電子データ化したファイルもご提供をお願いします。また、必ず論文ID～理由は同じ内容にしてください。
著者変更可否の審査は、全著者（追加・削除対象者含む）の署名・押印が確認された段階で開始します。
- Q4 投稿後死去した共著者がいます。署名・押印はどうすればよいでしょうか。
- A4 死去やご入院（重体）等の場合、理由記入欄にその旨を記載してください。不明な点があれば、後日論文集委員会より連絡します。

<(6)他の査読者意見の開示(回答書の共有)>

【他の査読者意見の開示(回答書の共有)】

- Q1 今まで回答書は査読者一人ひとりに別々のファイルを作成していましたが、2019年6月11日からは再査読の査読者が2名いた場合も回答書は1ファイルで提出するのでしょうか。
- A1 はい。2019年6月11日からは査読者が他の査読者の指摘内容による修正点を確認できるよう、回答書は1ファイルにまとめていただくこととなります。ただし、それぞれの査読は独立して行うこととしておりますので、他の査読者の意見や回答に対しての査読は行われません。
回答書の書き方は、「回答書テンプレート」「回答書見本」をご確認ください。
- Q2 回答書テンプレートはいつから適用となりますか。
- A2 2019年6月11日の提出分より適用となります。公開しているWord以外で作成しても問題ございませんが、テンプレートに沿われていない場合はお戻し対象となります。
※2019年6月は周知期間とし、テンプレートに沿ってなくても受け付けますが、査読者別に回答書ファイルを準備せず、回答書ファイルは必ず1つにまとめてください。
- Q3 回答書以外に、赤字等で修正点を示した原稿を提出することはできますか。
- A3 可能です。ただし、再査読を行う査読者が2名の場合、各々宛にファイルを作成するのではなく、ファイルは1つとし、両査読者宛の内容にして、さらに回答書に続けて1つのPDFに統合のうえ提出してください。

<(8)図表類英語表記の例外>

【図表類英語表記の例外】

- Q1 図表内がすべて日本語でも受け付けてもらえるのでしょうか。
- A1 事務局では受け付けます。ただし、委員会や査読者が英語化する方が適切であると判断した場合、返却となったり、査読コメントで指摘したりすることもあります。
- Q2 キャプションも日本語のみでいいですか。
- A2 不可です。キャプションは英語または英語（ローマ字）併記です。
- Q3 参考文献は対象外ですか。
- A3 参考文献は対象外です。必ず英語または英語（ローマ字）併記にしてください。

<(9)訂正記事および取り下げ記事の追加>

【訂正記事および取り下げ記事の追加】

- Q1 訂正・取り下げは2019年6月11日から申請可能ですか。
- A1 可能です。
- Q2 誤字脱字の訂正はできるのでしょうか。
- A2 訂正記事は今後の研究や調査に影響を与えるような重大な誤りが判明した場合を想定したものです。学術雑誌では一旦発行された記事の軽微な誤りは修正しないことが慣例となっています。
- Q3 訂正の場合、訂正記事が申請書類に含まれていますが、取り下げの場合、取り下げ記事の提出は不要なのでしょうか。
- A3 不要です。取り下げ記事は原則論文集委員会が作成します。
- Q4 申請書に署名・押印欄がありますが、著者の何名かは他の地方や海外在住のため、署名・押印を集めるにはかなりの時間を要します。
- A4 以下に案を記載します。
①代表著者が【論文】【訂正理由】を記入したWordファイル等を共著者へ提供。
②共著者は署名・押印次第、代表著者へ原本を郵送。
③代表著者は1人1枚ずつの書類を束ねて（例えば、5名著者がいれば5枚で1束）、その他必要書類とともに論文集委員会宛に郵送。また、郵送する書類はすべてPDF化し、別途メール（ronbun@aij.or.jp）で提出する。その際、共著者をCCに入れ、添付ファイルとして送付する。
※署名・押印を1枚にまとめずに進められるので、多少時間を削減できるかと思えます。
- Q5 すでに死去した共著者がいます。署名・押印はどうすればよいでしょうか。
- A5 死去やご入院（重体）等の場合、理由記入欄にその旨を記載してください。不明な点があれば、後日論文集委員会より連絡します。

2021年4月号からの完全オンライン化（冊子廃止）に関して

■2019年6月11日～2020年7月10日の新規投稿 → 2021年3月号までの掲載（予定）

（2020年8月受付分（8/10締切）の新規投稿からは2021年4月号以降に掲載 [完全オンライン化の詳細はこちら](#)）

【投稿】		
2020年	7月10日24時締切の 7月受付分まで	8月10日24時締切の 8月受付分から
2021年3月号までに掲載予定 ★冊子版の刊行あり ☆図表類のカラー掲載は有料 ☆本文最大 10 頁まで可 ☆レイアウト原稿、紙面投稿、別刷の受付可		2021年4月号以降に掲載 ★オンライン版のみ刊行 ☆図表類のカラー掲載は無料 ☆本文最大 11 頁まで可 注：レイアウト原稿、紙面投稿、別刷は受け付けません
<p>*2020年7月受付分までは、原則2021年3月号までの掲載となります。 ・審査の遅延等により2021年4月号以降の掲載となることがあります。その場合の登載料は変更後の料金が適用されます。ただし、投稿時にレイアウト原稿の申込をされていた場合に限り、+2万円（税込）で対応します。2021年4月号以降の掲載となった場合には、冊子や別刷の頒布、白黒からカラーへの変更はできませんので、あらかじめご了承ください。 *2020年8月受付分からは、原則2021年4月号以降の掲載となります。</p>		
【掲載】		
2021年	3月号まで	4月号から
●原則2020年7月10日24時締切の7月受付分までの新規応募原稿を掲載 （ただし、審査が遅延したものは4月号以降の掲載） ★冊子版の刊行あり ☆図表類のカラー掲載は有料 ☆本文最大 10 頁まで可 ☆レイアウト原稿、紙面投稿、別刷の受付可		●原則2020年8月10日24時締切の8月受付分からの新規応募原稿を掲載 ★オンライン版のみ刊行 ☆図表類のカラー掲載は無料 ☆本文最大 11 頁まで可 注：レイアウト原稿、紙面投稿、別刷は受け付けません
※オンライン版は冊子刊行から1年経過後に無料公開（ただし、2021年4月号刊行（4/30）と同時に刊行1年以内の過去分についても一挙無料公開）		※オンライン版は刊行即日（毎月30日刊行）に無料で公開（2021年4月30日に2021年4月号刊行予定）

<完全オンライン化（冊子廃止）に関する注意事項とFAQ>

- ・2020年7月受付分（2020年7月10日24時締切）までの新規応募原稿は、審査を経て、基本的に2021年3月号までの掲載を予定しておりますが、審査の遅れ等により2021年4月号以降への掲載となることもあります。予めご了承ください。たとえ審査の遅れが理由であっても、2021年4月号以降に掲載の場合、登載料は新料金が適用され、冊子ならびに別刷の印刷は致しかねます。別刷を事前に申し込まれた場合でも自動的にキャンセル扱いとなります。
- ・掲載号の希望を申し出たり、希望掲載号を指定したりすることはできません。2021年4月号以降の掲載を希望される場合は、2020年7月受付分（2020年7月10日24時締切）までの新規投稿ではなく、2020年8月受付分（2020年8月10日24時締切）以降に新規応募原稿をご投稿ください。
- ・2021年4月号掲載分より頁数の上限が変更となり、最大本文11頁（要約1頁は本文に含まない）となりますが、2020年7月受付分（2020年7月10日24時締切）までの新規応募原稿の投稿については、本文10頁（要約1頁は本文に含まない）が最大です。本文11頁で原稿を作成される場合は、2020年8月受付分（2020年8月10日24時締切）以降に新規応募原稿をご投稿ください。

【カラーについて】

- ・2021年3月号までは冊子印刷があり、カラー掲載料が発生します。2020年7月受付分（2020年7月10日24時締切）までは、白黒印刷を希望される場合は必ず白黒原稿を、カラー印刷を希望される場合は必ずカラー原

稿をご投稿ください。投稿後、審査の前後など途中で原稿のカラー状態を変更することはできません。また、2020年7月受付分（2020年7月10日24時締切）までは、カラー印刷を希望されていないのにカラー原稿を投稿された場合は不備原稿として原稿を受理できません。

- ・2020年7月受付分（2020年7月10日24時締切）までにカラー原稿（カラー掲載希望）で投稿され、審査の都合等で2021年4月号以降の掲載となった場合のカラー掲載料は発生しません。2020年7月受付分（2020年7月10日24時締切）までに白黒原稿で投稿され、審査の都合等で2021年4月号以降の掲載となった場合は白黒での掲載となります。
- ・カラー掲載料が無料となる2021年4月号以降の掲載を希望される場合は、2020年7月受付分（2020年7月10日24時締切）までではなく、2020年8月受付分（2020年8月10日24時締切）以降に新規応募原稿をご投稿ください。

【紙面投稿、レイアウト原稿】

- ・紙面投稿（郵送での新規原稿投稿）の受付は2020年7月10日17時必着を以て終了いたします。それ以降に届いたものについては受け付けられませんので、ご注意ください。
- ・レイアウト原稿の受付は2020年7月受付分（2020年7月10日24時締切）を以て終了いたします。それ以降は版下原稿のみとなりますので、ご注意ください。ただし、2020年7月受付分（2020年7月10日24時締切）までにレイアウト原稿希望で新規投稿いただいた場合、2021年4月号以降の掲載となっても追加2万円(税込)で対応いたします。

Q1	2020年7月10日24時締切までに新規投稿した原稿ですが、2021年4月号に掲載となる旨通知がありました。2021年4月号からは、カラー掲載料が無料なので、全頁白黒PDF原稿を全頁カラーPDF原稿の掲載に変更してもいいですか。
A1	できません。投稿後、審査の前後など、途中で原稿のカラー状態を変更することはできません。
Q2	2020年7月10日24時締切までに新規投稿した原稿ですが、2021年4月号に掲載となる旨通知がありました。冊子と別刷の印刷を特別に注文することはできますか。
A2	できません。2021年4月号以降の冊子ならびに別刷の印刷は致しかねます。
Q3	2021年4月号以降は登載料が変更になるので、どうしても2021年3月号までに掲載して欲しいのですが、3月号までの掲載を確約してもらえますか。
A3	掲載号の確約はできません。また審査の速度を調整する（早めたり遅らせる）ことはできません。
Q4	2020年7月10日24時締切までに新規投稿した論文ですが、修正原稿作成時に本文を11頁に変更することは可能でしょうか。
A4	できません。
Q5	2020年7月10日24時締切までにレイアウト原稿希望で新規投稿した原稿ですが、2021年4月号掲載の通知が届きました。レイアウト原稿にて対応してもらえるのでしょうか。
A5	対応します。2020年7月10日24時締切までにレイアウト原稿希望で新規投稿いただければ、2021年4月号以降の掲載となりましても、レイアウト原稿を作成します。ただし、レイアウト原稿代として追加の2万円（税込）を請求します。 (例：8頁論文の場合 8.5万円（税別）+2万円（税込）)

問合せ先

論文集委員会 係 Email: ronbun(at)aij.or.jp *(at)=@

[日本建築学会 TOP ページ](#)

[日本建築学会論文集応募原稿募集ページ（電子投稿／紙面投稿）](#)

[日本建築学会論文集投稿審査システム](#)

© Architectural Institute of Japan